

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチンについて

～ 腎臓病で免疫抑制薬を使用している患者さんへ～

日本でも COVID-19 ワクチンの接種が開始されました。腎臓病の患者さんから寄せられる質問について、現時点での回答をまとめました。

Q1. ワクチンとは？

A1. 感染症にかかると、原因となる病原体（細菌やウイルスなど）に対する免疫（抗体）ができます。同じ病原体が体内に侵入した場合、免疫（抗体）が速やかに反応するため、同じ感染症にはかかりにくく、かかっても軽症で済むことが知られています。この仕組みを利用し、抗体を作る反応を起こす成分を含むワクチンを接種することで予め免疫（抗体）をつけておくのが予防接種です。

Q2. 腎臓病の患者はワクチンを接種すべきでしょうか？

A2. 慢性腎臓病（CKD）^{注1}の患者さんおよびステロイドなどの免疫抑制薬を使用している方は COVID-19 の重症化リスクが高いと考えられ、「基礎疾患を有する者」として、高齢者に次ぐ優先接種の対象となります。重症化リスクは患者さんごとに異なりますので、実際にワクチンを接種するかどうかは主治医とご相談下さい。

Q3. ステロイドなどの免疫抑制薬は、ワクチンの効果や副反応に影響しますか？

A3. 免疫抑制薬を使用している方では、A1 でご説明したような免疫反応が十分に起こらず、ワクチンの効果が低下する可能性があります。現時点でははっきりしたことはわかりませんが、一方で、免疫抑制薬を使用している方は COVID-19 に感染した際の重症化リスクが高いと考えられ、ワクチン接種が推奨されています。

インフルエンザワクチンなどの場合、接種前に免疫抑制薬を中止・減量することはありませんので、基本的にはワクチン接種の前後に免疫抑制薬を変更する必要はないと考えます。少なくとも、免疫抑制薬の使用により、アナフィラキシーなど重篤な副反応が増えることはないと考えられています。

ただし、リツキシマブ（商品名リツキサソ）は抗体をつくる細胞を減少させますので、ワクチンの接種時期には注意が必要かもしれません。COVID-19 の重症化リスクや、腎臓病に対する免疫抑制薬の必要性や治療の緊急性は患者さんごとに異なりますので、ワクチンの必要性や接種時期については主治医とよく相談するようにして下さい。

Q4. ワクチンを接種したら、COVID-19 にかかることはないのでしょうか？

A. 現在、日本で承認済・承認申請中のワクチンはいずれも有効性が高いとされていますが、それでも COVID-19 の感染を完全に抑えることはできません。従いまして発熱や咽頭痛などの症

状が出た場合には、ご自身の重症化防止のため医療機関等に相談したり、飛沫（しぶき）が飛びにくい素材のマスクを正しく着用、口や鼻を触った手は速やかに手洗いするなど、感染には一層注意し、他者への伝搬を防ぐ行動をお願いいたします。つまり、ワクチン接種後も十分な感染対策（3密（特にリスクの高い5つの場面）^{注2}の回避、マスクの着用、手洗いなど）を継続することが重要です。

注1.

慢性腎臓病（CKD）は下記のいずれか、または両方が3ヶ月以上続いている状態です。

1. たんぱく尿などの尿異常、画像診断や血液検査、病理所見で腎障害が明らかである状態
2. 腎機能の低下（血清クレアチニン値（Cr）をもとに推算した糸球体濾過量（eGFR）が60 ml/分/1.73 m²未満の状態）

注2.

3密：密閉、密集、密接

感染リスクが高まる5つの場面は、「飲酒を伴う懇親会等」、「大人数や長時間におよぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」、「居場所の切り替わり」です。